

各 位

2022年10月26日
SBI VC トレード株式会社

**【日本初】日本円だけでオンチェーン NFT 売買ができる
「SBI Web3 ウォレット」提供予定のお知らせ**

～事業者とユーザーの NFT 利用の課題を解決、2023年1月にポリゴンネットワークにて開始予定～

SBI VC トレード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：尾崎 文紀、以下「当社」）は、日本初※の日本円だけでオンチェーン NFT 売買ができる「SBI Web3 ウォレット」を 2023年1月に提供予定であることをお知らせいたします。（※2022年10月26日現在、当社調べ）

パブリックチェーン上での NFT 事業展開において、事業者及びユーザー共に直接的に暗号資産を持たなくとも、SBINFT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高長徳、以下「SBINFT」）の提供する「SBINFT Market」にて自由にオンチェーンで NFT を売買することができるようになる日本初のサービスとなり、SBINFT 及び株式会社 Ginco（本社：東京都中央区、代表取締役：森川夢佑斗、以下「Ginco」）と共同開発中となります。



◆日本の NFT 市場における課題

Web3 の先駆けとして今後の市場拡大が有望視されている NFT 市場ですが、NFT 取引を「パブリックチェーン」に記帳する「オンチェーン」の NFT サービスにおいて、事業者やユーザーには暗号資産ウォレットの作成・管理や暗号資産での NFT の売買の難易度の高さなどが大きな参入障壁となってきました。

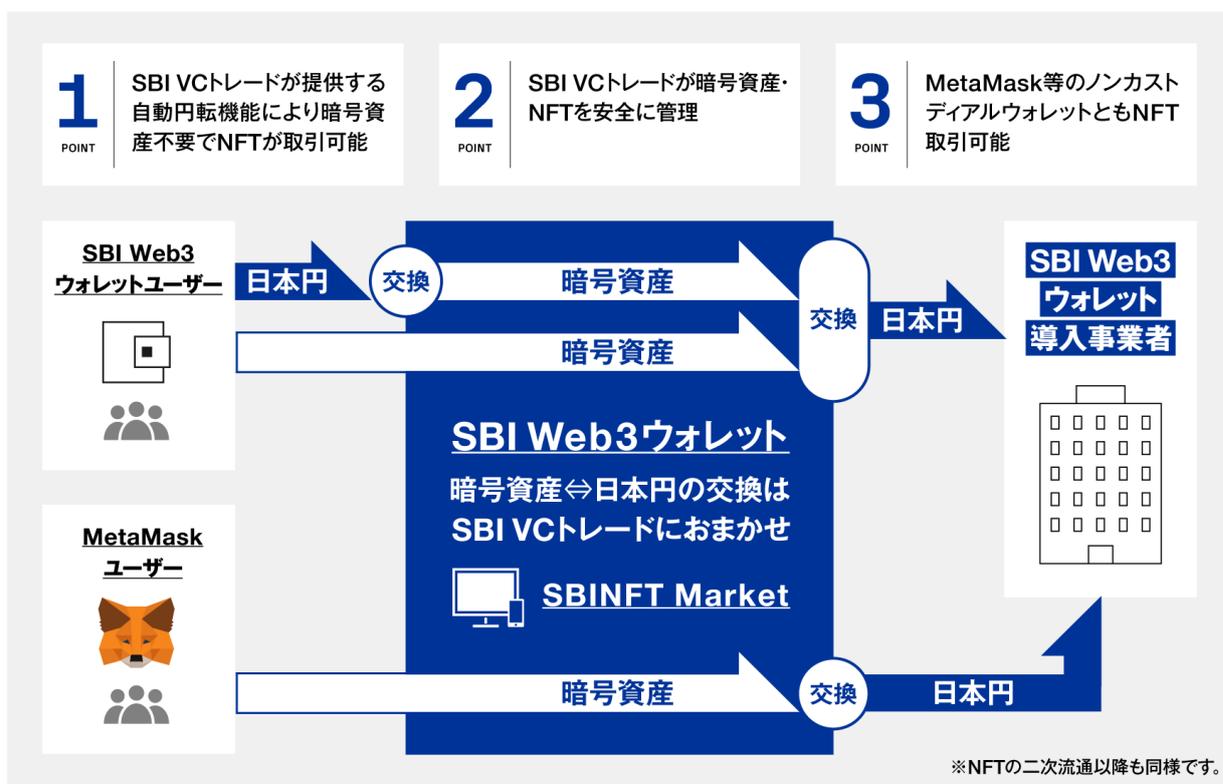
そのため日本の NFT 市場では、特定サービス内などで限定的に使用される「プライベートチェーン」を採用した NFT を提供したり、パブリックチェーンを採用するものの「オフチェーン」とよばれる形式を採用して、NFT 取引が実際にブロックチェーン上に記帳されていないサービス形態を提供するなど、世界標準のパブリックチェーン NFT サービスを展開できていないという課題がありました。

◆SBI Web3 ウォレットが解決すること

「SBI Web3 ウォレット」は、自動円転機能により、まるで日本円だけで取引しているような使いやすさを実現し、事業者及びユーザー共に暗号資産の売買から NFT の売買・保管までを含めた一気通貫の機能を提供します。また、「SBI Web3 ウォレット」はオンチェーンを採用しており、これまでにない世界標準のパブリックチェーン NFT サービスの普及に寄与する革新的なサービスとなります。

2023 年 1 月に、当社で本日取扱いを開始したポリゴンネットワーク上の MATIC でのサービス開始に向けて開発中であり、今後は複数の NFT マーケットプレイス等の Web3 サービスへの対応や、ポリゴンネットワーク以外へも拡大するマルチチェーン化を検討してまいります。

SBI Web3ウォレット NFT購入時のお金の流れ



【Polygon Studios、ビール依子氏コメント】

Polygon はブロックチェーンのマスアダプションに向けて技術的開発だけでなく、技術の人々に届けるサービスを構築するプレーヤーとの連携を進めてきました。今回このシステムによって日本から Web3 に参入したいと考える企業の方の課題を解決し、普及が進むことに期待しています。

当社では SBI グループが掲げる「顧客中心主義」のもと、NFT がより一般の方に利用しやすい環境を創出し、デジタルスペース時代の先駆者として Web3 ビジネスを推進してまいります。

<SBI Web3 ウォレットの機能>

①安全なウォレット機能

- 当社がユーザーのウォレットを作成、安全に管理
- NFT 取引はパブリックチェーン上に全て記録、取引情報の透明性を担保
- ②自動円転機能（暗号資産⇄日本円）
- ユーザーの暗号資産⇄円の交換を自動執行
- ユーザーは当社口座内の暗号資産や日本円で NFT を売買
- ③dApps（分散型アプリケーション）との接続機能
- ゲームやマーケットプレイスなどの dApps※と接続・利用が可能に ※当社が許可したもの
- 接続 dApps は今後追加予定（現在は SBINFT Market のみ）

<SBI Web3 ウォレットのメリット>

NFT 利用事業者へのメリット

- ・暗号資産に関する取扱の煩雑さなく NFT 事業展開が可能
- ・パブリックチェーン上でグローバルな NFT 事業展開が可能

ユーザーへのメリット

- ・当社に口座開設するだけで NFT を売買できる（SBINFT Market 内）
- ・暗号資産と日本円のどちらでも NFT を購入できる

■提携企業について

SBINFT 株式会社

SBINFT は、パブリックチェーンによる NFT マーケットプレイス「SBINFT Market」を運営しています。自律分散型エコシステムの構築を掲げ、NFT マーケットプレイスを中心とするビジネスモデルに留まらず、Web3.0 を牽引するような新時代のビジネス創出を目指しています。

コーポレートサイト：<https://sbinft.co.jp/>

SBINFT Market：<https://sbinft.market/>

株式会社 Ginco

Ginco は、「経済のめぐりを変えていく」をビジョンに掲げ、ブロックチェーン技術を活用し、企業の Web3 事業を支援する Web3 Development Company です。より早く、より安全に、より高い費用対効果でブロックチェーンを活用し、Web3 化をはじめとする新規サービスの創出や既存サービスの価値向上に取り組めるインフラおよびエンタープライズサービスと、個人が安心安全に暗号資産等のデジタルアセットを利用できるウォレットを展開しております。

コーポレートサイト：<https://ginco.co.jp/>

■Polygon について

Polygon は、処理能力が高く、低コストかつ安全で持続可能なブロックチェーンを提供する Web3 のリーディングプラットフォームです。L2（ZK Rollups および Optimistic Rollups）、サイドチェーン、ハイブリッド、スタンドアロンおよびエンタープライズチェーン、データ可用性など開発者が簡単に利用できる主要なソリューション群を提供しています。Polygon は世界中で広く採用されており、ユニークユーザーアドレスは 1 億 7,490 万件以上、Aave、Uniswap、OpenSea などの大手 Web3 プロジェクトや、Starbucks、Meta、Stripe、Adobe などの有名ブランドでも採用されています。現在 Polygon はカーボンニュートラルで、Web3 のエコシステムの中でも率先してカーボンネガティブになることを目指しています。

以上

（SBI VC トレード株式会社）

<暗号資産を利用する際の注意点>

暗号資産は、日本円、ドルなどの「法定通貨」とは異なり、国等によりその価値が保証されているものではありません。

暗号資産は、価格変動により損失が生じる可能性があります。

暗号資産は、移転記録の仕組みの破綻によりその価値が失われる可能性があります。

当社が倒産した場合には、預託された金銭及び暗号資産を返還することができない可能性があります。

当社の取り扱う暗号資産のお取引にあたっては、その他にも注意を要する点があります。お取引を始めるに際しては、「取引約款」、「契約締結前交付書面」等をよくお読みのうえ、取引内容や仕組み、リスク等を十分にご理解いただきご自身の判断にてお取引くださるようお願いいたします。

秘密鍵を失った場合、保有する暗号資産を利用することができず、その価値を失う可能性があります。
暗号資産は支払いを受ける者の同意がある場合に限り、代価の支払いのために使用することができます。

商号等： SBI VC トレード株式会社（第一種金融商品取引業者、暗号資産交換業者）
第一種金融商品取引業： 関東財務局長（金商）第 3247 号
暗号資産交換業： 関東財務局長 第 00011 号
加入協会： 一般社団法人 日本暗号資産取引業協会（会員番号 1011）

<免責事項>

本 PR に記載されている目的、概要及びイメージ図等にかかる一切の事項については、現時点で検討されている段階のものであり、必ずしもその実現を保証するものではありません。また、法令諸規則や社会情勢等の要因に基づき予告なく変更、修正、削除される可能性があり、それにより生じた損害に関しては当社及び SBINFT 株式会社は一切の責任を負いません。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

SBI VC トレード株式会社 経営企画部 03-6229-1166

SBINFT 株式会社 info@sbinft.co.jp

SBI Web3 ウォレット特設お問い合わせフォーム <https://forms.gle/xKEkJFSEKcGvxJpQ9>